

調査解析 2

琵琶湖・瀬田川プランクトン等のモニタリングと遷移の評価

琵琶湖におけるプランクトンの継続的なモニタリングを実施することにより、琵琶湖の変化を素早く感知するとともに、モニタリング結果を整理し、瀬田川プランクトンの遷移を評価することで、動物・植物プランクトンの相互作用の関係を評価します。

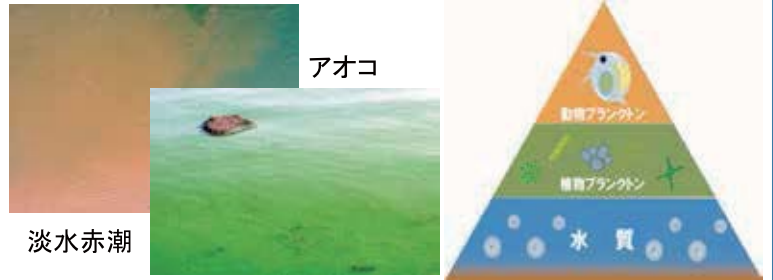
<サブテーマ>

- ・琵琶湖・瀬田川プランクトン等モニタリング調査
- ・瀬田川における動物・植物プランクトンの遷移および相互関係の評価

【現状における課題】

- プランクトンの異常発生や種類の変化
- プランクトンに起因する琵琶湖の水質や生態系の変化

※平成27年度から、琵琶湖の植物プランクトンが公共用水域測定計画の測定項目になった。



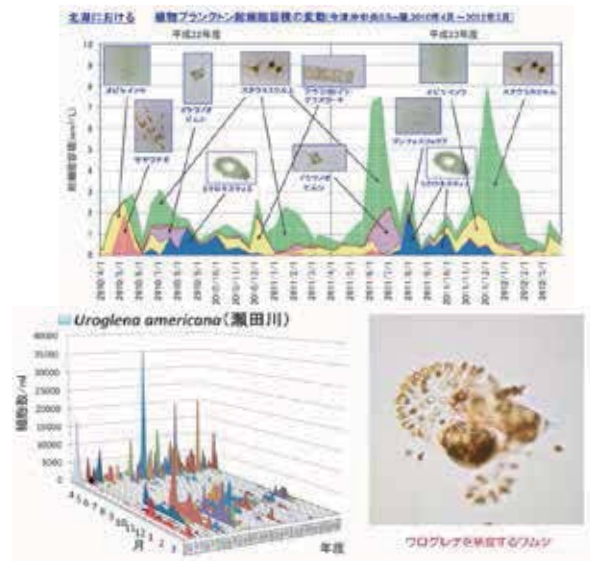
【課題解決に向けた対応】

1 プランクトン等の情報の定期的な収集

- 琵琶湖における水質や生態系の変化を捉えるためのプランクトン等のモニタリングを琵琶湖および瀬田川で実施

2 瀬田川におけるプランクトン遷移の評価

- 動物プランクトンと植物プランクトンの相互作用の関係の評価
- 異臭味原因プランクトンの遷移を評価



- 継続的な監視、基礎データの蓄積、また、プランクトン発生状況から水質の変動を評価
- 県民や水道事業者へプランクトン発生状況やかび臭物質の情報提供